

科目分類	専門分野	学 年	2 年	担当教員の氏名・職名
授 業 科 目 名	コミュニケーション 論Ⅲ (精神看護と治療的 コミュニケーション)	学 期	後 期	峯尾 まゆみ (看護教員)
		単 位 数	1	
		時 間 数	16	
目 的 (ねらい)	人とわかりあえる能力は精神看護のみならず、看護全般の基礎的能力として重要である。ここでは、治療的な人間関係を構築するための基礎理論を学ぶとともに、患者-看護師関係を築くためのコミュニケーション技術について学ぶ。 また、その中で自分のコミュニケーション特性に気づき、自己理解を深める一助とする。			
目 標	1. 自己理解の必要性と方法を理解する。 2. 患者-看護師関係を築くための手法としてのコミュニケーション技術を身につける。			
授 業 計 画	回数	単元項目	内 容	授業形態
	1	看護におけるコミュニケーションの重要性	患者-看護師におけるコミュニケーション	講義・演習
	2	言語的コミュニケーションと非言語的コミュニケーション	非言語的コミュニケーション	講義・演習
	3	自己理解・他者理解	自己理解・他者理解	講義・演習
	4、5	自己受容 対人認知、印象形成	自己受容、印象形成	講義・演習
	6、7	自己理解と対象理解を深める	1) 治療的コミュニケーション 2) プロセスレコード活用の目的 3) ロールプレイ	講義 演習
	8	事例検討	1) 事例検討 (カンファレンス) について 2) 事例検討 (カンファレンス) の意義、 3) 事例検討の準備と進め方 4) 事例検討にのぞむ姿勢 5) 事例検討の実際	講義 デモスト
	教 科 書	系統看護学講座 専門分野Ⅱ 精神看護の基礎 精神看護学① (医学書院) 系統看護学講座 専門分野Ⅱ 精神看護の展開 精神看護学② (医学書院)		
参 考 文 献	1. 自己理解・対象理解を深めるプロセスレコード 第2版 (日総研) 2. 看護場面の再構成 改訂版 (日本看護協会出版会) 3. 日常生活行動からみるヘルスアセスメント (日本看護協会出版会) 4. 知識と実践がつながる看護学生のためのコミュニケーション Lesson (メヂカルフレンド社) 5. 看護コミュニケーション、基礎から学ぶスキルとトレーニング (医学書院) 6. 精神科看護の非言語的コミュニケーションUP術 (メディカ出版) 7. 患者の心に寄り添う聞き方話し方 (メヂカルフレンド社) 8. 看護の治療的コミュニケーションと心のケア (大学教育出版)			
評 価 方 法	定期試験 80% 態度・提出物 20% 合計 100 点満点での結果を最終評価とする。			
関 連 科 目	心理学 看護全般			
自 己 学 習 に 関 する 指 針	毎回、授業終了ごとに振り返りをします。その回の学びをまとめておいて下さい。			
そ の 他 の 通 知 事 項	随時質問に応じます。			